

甲賀市少年センターだより

第5号



甲賀市水口町本丸 1-20 みなくるプラザ内

TEL 0748-62-6010

FAX 0748-63-3977

メール k-syonen@city.koka.lg.jp



R7.1月発行

子どものことで困っていませんか・・・

～うちの子は困った子?!→困った子は困っている子～

子どもは日々成長しています。親の思い通りに生活していると安心ですが、子どもも一人の人間です。考え方や感じ方は親と同じではなく、親が予想していない行動をしたり言ったりすることがあります。よくない行動をしたとき、親は困りますが子どもも困っていることもあります。問題行動が出てきても日常生活に支障のない程度なら家庭で解決できますが、親も子どももストレスをためて毎日生活している環境というのは、親子関係が悪くなり子どもの健全な成長が難しくなります。そのような時、家庭だけで解決しようとして間違った対応をしてしまうと問題行動が悪化してしまいます。専門家や医療機関への相談をお勧めします。



子どもに多い問題行動

- 意見を聞かない、無視
- 攻撃的
- 暴力的（壊す、投げる、叩く）
- 嘘
- さぼる
- ルールを守らない
- 非行にはしる



左記のような問題行動が起こってくると心配です。大人ができることは、まずは話を聞くことです。しかし、話し合うことが難しい場合はその関係を築くことから始めなくてはなりません。簡単にはできませんが、見守ったり、居心地のよい環境を作ったりしていくことで少しずつ改善していくはずですが、言うのは簡単ですがなかなか難しいのです。

下記の対応はすべてできなくても、子どものことをわかってもらう姿勢や心配していることを丁寧な言葉で話してみるなど時間はかかるかもしれませんが、1つでもできることから始めてみてはどうでしょうか。

大人ができること

1. まずは、向き合って話し合う
2. 程よい距離を保つ（見守る）
3. 居心地のよい環境をつくる

しかし、言うは易く行うは難し・・・

4. 下記の★のように重い問題行動の場合

- ★人の言うことを全く聞かない
- ★まともなコミュニケーションが取れない
- ★非行にはしっている など

これらの場合は家庭だけで解決することは困難

家庭だけで解決しようとしなくて相談を

家庭だけで解決しようとして

間違った対応をしてしまうと問題行動が悪化

- 専門家に相談
- 医療機関に相談 など



☆ できるだけ長く話す

☆ 相槌を打ち、しっかり聞く姿勢を見せる

☆ 言うことを否定しない

☆ こうしなさいという指示やアドバイス、間違っているという解釈は避ける

安定した環境なしで、状態の改善は難しい

- ・ 本音を言える環境
- ・ ほめることが負担にならないよう、結果でなく過程をほめる

大人が子どもにはいけないこと

☆ **抑圧**（強く攻めたり、人格を否定するような言い方、罵倒する、怒鳴りつける）
⇒ 恐怖心を抱き弱音を吐いたり反省の姿勢を見せたりすることが難しくなる

☆ **放置**

⇒ このぐらいなら許される、怒られないからまたやろうと間違った価値観を持ってしまう

☆ **過干渉**

⇒ コントロールされていると感じ、反抗することもある

☆ **暴力**

それ「バイト」？ではなく、「犯罪」です!!

SNS で「高額報酬」 「ホワイト案件」

などと投稿し、応募した人に「シグナル」や「テレグラム」などのアプリで連絡し、強盗などの凶悪な犯罪をさせる行為が横行しています。

大金 がもらえると ウソをつかれ

身分証などの個人情報を送ると、脅されるなど巧妙な方法で、凶悪な犯罪に加わることを断れない状況にされます。

少年 であっても、 このような犯罪に

加われば、必ず捕まります!!
厳しく処罰されます!!
「怪しい」「まずい」と思ったら、すぐに周りの信頼できる大人や警察に相談してください。

警察庁・文部科学省・こども家庭庁より

に密告され逮捕された」など、犯行グループは約束の報酬をもとから支払うつもりはなく、青少年を都合よく利用した後、簡単に「捨て駒」として切り捨てます。ほかにも入手した個人情報をもとに、青少年を執拗に脅迫し恐怖心を植えつけることで、犯罪に加担することを断ったり、犯行グループから離脱したりすることを阻止します。家族に脅しがあるケースもあります。また、犯罪によって被害者や家族に一生消えることのない深い傷を与えることになり、他人の人生も台無しします。

「闇バイト」は犯罪であると青少年の道徳心に語りかけ自らの判断に基づき、犯罪加担行為を踏みとどまれるよう青少年の心に響く働きかけをしていかなければなりません。

闇バイトが大きな社会問題となっており、青少年が犯罪に加担してしまうニュースを目にしない日はありません。被害を防ぐために青少年に危険性を伝えていく必要があります。

楽に稼げると思い個人情報を渡してしまったケース、お金に困っていて危険じゃなさそうだったから仕事を請け負ったケース、仲間や先輩に誘われて断り切れず加担してしまったケースなどなど、闇バイトに関与してしまうケースが増加しています。

「危険を冒して犯罪を実行したが、一切の報酬が支払われなかった」「警察



R6度少年センター相談受理状況

R6年4月～R6年12月末合計延べ1,293件(R5年12月末まで1,068件)
面談等347(312) 電話761(710) メール185(46)

	内 容	R6 12 月末	R5 12 月末	内 容	R6 12月 末	R5 12月 末
非 行 相 談	盗癖・窃盗	39	18	暴力行為	47	50
	校内暴力	32	59	家庭内暴力	30	16
	たかり・恐喝	0	2	薬物乱用	0	7
	飲酒	0	0	喫煙	3	0
	家出	4	53	無断外泊	13	7
	深夜徘徊	2	3	金銭乱用	43	4
	道交法違反	13	2	怠学	1	0
				小計	227	221
非 行 相 談 以 外	不登校	74	124	学校・学業	48	52
	就職・仕事	12	26	家庭	21	10
	しつけ生活	694	505	交友	127	20
	性	4	7	発達障害	3	2
	心の病	7	0	健康・身体	2	0
	いじめ	51	71	虐待	8	27
	有害環境	13	0	その他	2	3
				小計	1066	847

○相談者内訳

本人	206	185	家庭	533	254
学校	284	305	職場	2	12
関係機関	226	298	その他	42	14

○相談対象少年内訳

小学生以下	95	108	中学生	592	412
高校生	190	146	学生その他	236	110
有職少年	110	213	無職少年	70	79

◆相談活動の現状

本年度12月末時点では、延べ受理件数が1293件で前年同時期1068件(+225件の増加)の約1.2倍となっています。相談者区分としては、本人からが206件で前年同時期185件から多少増加し、家庭からが533件で前年度同時期254件で約2.1倍、その他の少年補導委員や一般の方からなど多様な方からの相談が3倍に増加しました。

対象少年別では中学生に対する相談が圧倒的に多く、合計592人で、前年同時期412人の約1.4倍となり、中学校を卒業した少年などの学生その他の少年の相談が236件と前年度同時期の110件から2.1倍と大幅な伸びを示しています。

中学校を卒業した少年が絡んだ問題がますます増加し、高校に入学したものの退学するなど、学校生活になじめず非行に走ったり、よくない交友関係ができ保護者が相談してきたりしています。小学生に関しては相談人数は増加していませんが、子どもと保護者が絡んだ相談を受けることが増えてきています。

また、「非行相談」に関し、12月末の件数は昨年とはほぼ変化はありませんが、相談内容的に盗癖・窃盗、無断外泊、金銭乱費、道路交通法違反など社会のルールが守れない事案が多く発生しています。

「非行相談以外」では、「しつけ・生活」の相談が圧倒的に多く、「交友」についての相談が前年度20件から127件の増加で6.3倍にもなっています。また、有害環境でSNS絡みが0件から、13件になり、SNSの危険性について報道されていますが、それでもSNSの怖さを知らず関わりを持つ少年が多いことが問題になっています。

困ったときは
ひとりで悩まないで 気軽にお電話を!
秘密厳守・無料

交友関係、生活、いじめ、
家族、学業、不登校、就労など
相談日：平日のみ(9時00分～16時00分)
年末年始、土、日、祝日は休み

(0748) 62-6010

k-syonen@city.koka.lg.jp

